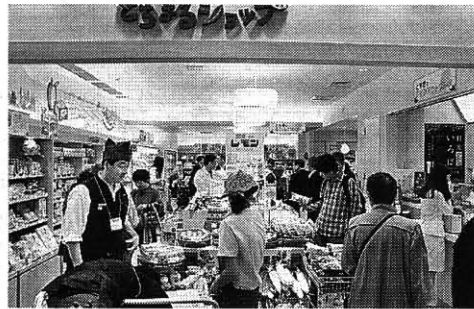


栃木県が東京スカイツリー(東京・墨田)の商業施設に設けたアンテナ店「とちまるショップ」の滑り出しが好調だ。イチゴ関連や郷土料理などの評判が良く、7月末までに年間目標の3分の1の売り上げを達成した。とはいえ、開業特需に終わらせず、観光客誘致まで効果を広げるには商品力の一段の強化とリピーター獲得が欠かせない。

栃木アンテナ店、まずは好調

スカイツリーさまさま



栃木ならではの商品が好評だ(とちまるショップ)

常連客の獲得課題 郷土色演出など 一段の工夫必要

目標とする年間売り上げの2億円を上回るペースが続く。なかでも人気が高いのが、納入業者からは「行政特有の横並び意識の典型」とも評される「アンテナ店に詳しく、専門サイト「風土47」を運営する浜田登氏は成功しているアンテナ店に共通する期待し、とちまるショップで連日のように観光(宇都宮支局 安倍大賢)

とめ」を使っ型で、店のコンセプトがターを増やしていることを開いている。効果はまたジェラート明確でない」と厳しい声や郷土料理もある。例えは、福井県はアンテナ店のイベント情報をメールマガジンの登録者に配信するなどして、客に配信するなどして、客の囲い込みに力を入れていく考えだ。

「しもつか ファーマーズ・フォレストも今後は売れ行きが好調な商品を中心に打ち出したい考え。商品の数に絞って、産地や特徴などの説明を増やしてメリハリのある陳列に切り替える方針だ。

一方、郷土ツリーブームに乗るだけでは好調は続かない。浅草と栃木は電車1本で2時間かかりませ言える。

「浅草と栃木は電車1本で2時間かかりませ言える。

「浅草と栃木は電車1本で2時間かかりませ言える。

北関東

支局 水戸 0229-2221-3283
つくば 0229-8522-03445
宇都宮 0228-6222-117445
前橋 027-2232-31145